

経営人財育成スクール NEXT→

令和8年度



経営の一翼を担う経営人材を育成します！

| 入門コース

全日程 対面開催

| 事業マネジメントコース [ベーシック]

募集！

| 組織マネジメントコース [ベーシック]

令和8年度

中小企業人的資本経営支援事業

スクール名【経営人財育成スクールNEXT】には、経営人材への成長と併せて、「人材」が企業にとって大切な宝である「人財」となり、企業組織がNEXTステージにあがっていく願いが込められています。

経営人財育成スクールNEXT ではこのような人材を育成します。

POINT 1 企業の経営戦略を経営者と一緒に考えられる人材

POINT 2 リーダーシップを発揮して事業変革を推進できる人材

POINT 3 経営者の能力や実務を補完し、社員を牽引する人材

経営には「事業」と「組織」2つのマネジメントが必要です

経営人材として、事業や組織を新たに開発・変革し、持続的な成長を実現することを目指すために、

入门コース



事業・組織コース[ベーシック]



事業・組織コース[アドバンス]



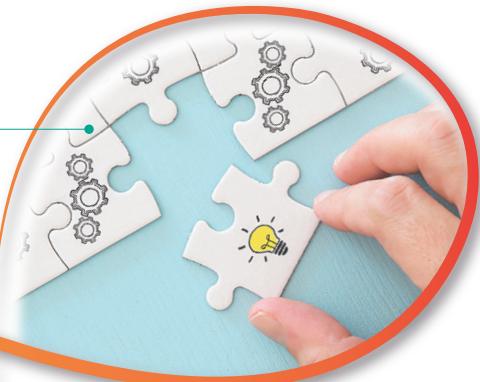
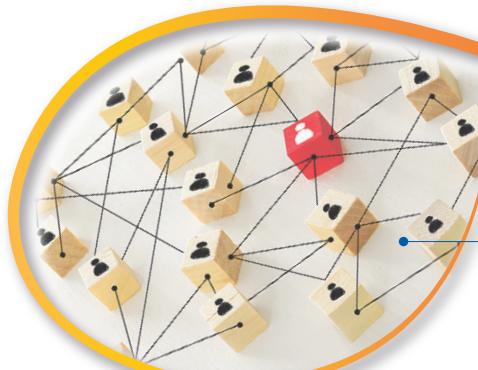
交流会

を通して参加していただくことをおすすめしています。

※それぞれのコース及び[ベーシック] [アドバンス]のみの受講も可能です。カリキュラムは中面でご確認ください。

事業マネジメントコース

事業構築に役立つ
イノベーションスキルの習得を目指します。



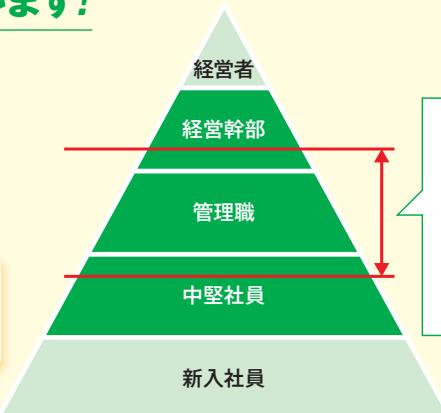
組織マネジメントコース

組織課題解決に役立つ
マネジメントスキルの習得を目指します。

このような方が多く参加されています!

- 経営者または後継者を支える側近候補
- 将来、企業を牽引するリーダーとして
経営層から期待されている方

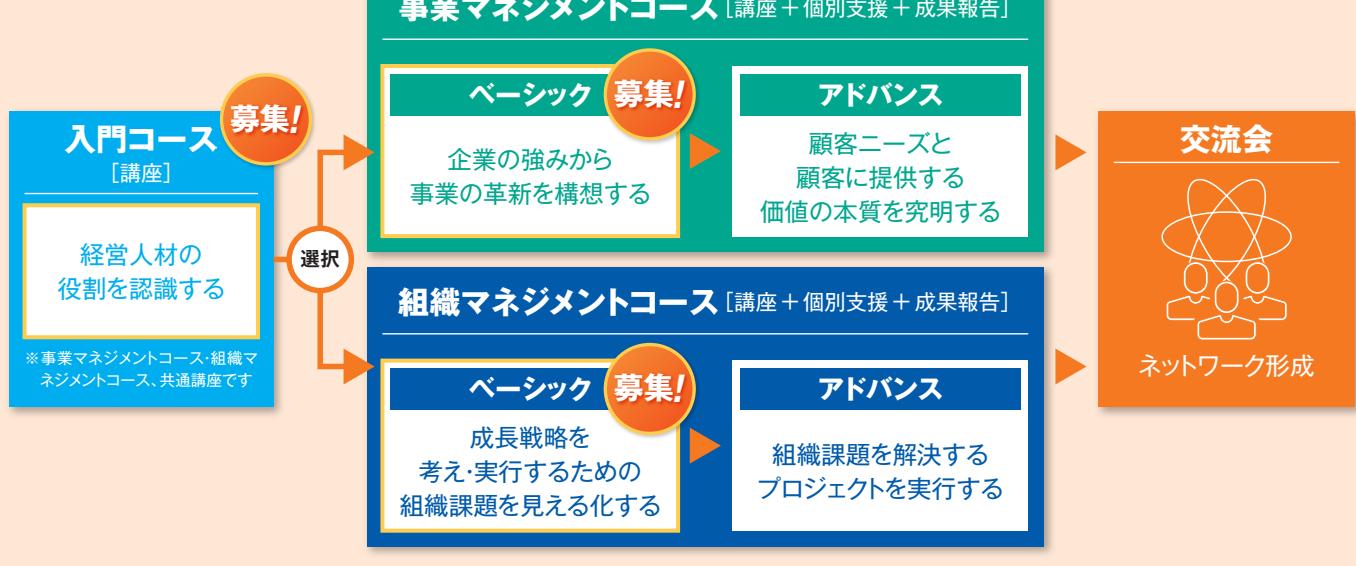
年齢は30~40代中心に
幅広い方が参加されています。



スクールの主な受講者層

- 経営の一翼を担い始めている
- 指揮命令の権限がある
- 一定数部下がいる
- 遂行にリーダーシップが必要
- 部下育成の責務がある

《スクール構成》



経営人財育成スクールNEXTの特徴

自社組織の課題解決や 自社の事業構築を図る 実践型スクール

講座で習得した知識を、社内外の実践活動を実行する過程でアウトプットしていき、経営人材としてのスキルを実践的に育みます。



社内の実践活動を 個別支援でしっかりサポート

1社につき1名の専属インストラクターが企業を訪問し、課題解決の具体的なアドバイスやフィードバックを行い、経営人材としての成長を後押しします。



経営人材同士の 人的ネットワーク形成を支援

講座内の受講者間のグループワークの実施や交流会など、受講者間の交流の機会を設けています。他社経営人材とのネットワークの構築にご活用ください。



参加者の声!

入門コース

異業種の方と話ができる、各社が持っている課題、悩みなど、共感するところが多く、自分にない別の視点や物の見方を知るきっかけとなりました。経営人材として求められていること、達成すべきことを認識できました。



40代 建設業 部長



30代 卸売業 係長

事業マネジメントコース

卸売業ですが、BtoC事業に取り組みました。グループワークで自社にはなかった視点を受講仲間にアドバイスされ、これまでになかったアイディアで、新商品を市場投入できました。売れ行きも好調です。

組織マネジメントコース

組織内コミュニケーションの活発化に取り組みました。業務の情報共有が円滑になり、助け合い精神も生まれ、風通しの良い組織風土に生まれ変わりました。座学だけではなく会社の成長に必要なミッションを直に担うことで、自分も組織も成長しました。



40代 製造業 課長

経営人財育成スクールNEXT カリキュラム

入門コース ~経営人材としての意識と行動の変革~

■ 経営人材の役割を認識する

経営人材に求められる役割や行動を認識し、自社の置かれた状況を把握します。

「事業マネジメントコース」または「組織マネジメントコース」どちらのコースに進むかを考えます。

A日程

	日 程	時 間	テー マ
Day 1	4月14日(火)	10:00~17:00	経営人材に期待される役割と能力
Day 2	4月21日(火)	10:00~17:00	経営シミュレーションゲームで学ぶ経営者の視点

B日程

	日 程	時 間	テー マ
Day 1	4月15日(水)	10:00~17:00	経営人材に期待される役割と能力
Day 2	4月22日(水)	10:00~17:00	経営シミュレーションゲームで学ぶ経営者の視点

※A日程・B日程は、同一の内容です。どちらかをお選びください。異なる日程への振替はできません。
※A日程・B日程ともに1社2名までの受講とさせて頂きます。同一の日程に3名以上の受講はできません。

■ 経営人材に必要な力と目指す成果

会社・仕事に向き合う 基本姿勢

主導性 / 全社視点
挑戦性 / 着実性

経営目標で考える 概念化能力

目的意識 / 論理思考
構想力 / 問題分析力

組織を上手に巻き込むための 対人関係能力

傾聴力 / 対話力
巻き込み力 / 動機づけ力

Step1 講義

Input
知識習得

Step2 個別支援

Output
実践活動

Step3 成果報告

Presentation
発表

社内での
継続的な
取り組み

組織の成長
自身の成長
**実践力を備えた
経営人材**

経営人材の人的ネットワーク形成

「事業マネジメントコース」「組織マネジメントコース」はどちらかをお選びください。各コース1社2名までとなります。

事業マネジメントコース ~既存事業の進化と新規事業の創出~

ベーシック

Basic

■企業の強みから事業の革新を構想する

自社のビジネスにイノベーションを起こすために、強み・機会の分析手法やビジネストレンドのつかみ方などを体系的に学びます。インストラクターの支援を受けながらビジネスモデルを磨き、既存事業の進化または新規事業の創出を目指します。

	日程	時間	テーマ	個別支援(全4回)
Day 1	5月21日(木)	13:30~16:30	既存事業の課題分析と新規事業のアイデア出し	
Day 2	6月4日(木)	13:30~16:30	ビジネス創造・推進① ビジネスアイデアの創出	1 •ビジネスアイデア創出支援 •ビジネス戦略策定支援
Day 3	6月11日(木)	13:30~16:30	ビジネス創造・推進② ビジネス戦略の策定	2 •顧客明確化支援 •マーケティング戦略策定支援 •中間発表資料の確認
Day 4	6月16日(火)	10:00~16:00	ビジネストレンドのつかみ方	
Day 5	6月23日(火)	13:30~16:30	ビジネスアイデアの発表と意見交換	3 •数値計画策定支援
Day 6	7月2日(木)	13:30~16:30	ビジネス創造・推進③ ビジネスマodelの策定	
Day 7	7月9日(木)	13:30~16:30	事例研究	
Day 8	7月14日(火)	13:30~16:30	中間発表	
Day 9	7月30日(木)	13:30~16:30	ビジネス創造・推進④ 数値計画の策定	4 •ビジネス創造最終化
Day 10	9月24日(木)	10:00~17:00		個社別に日程調整
			最終発表	

組織マネジメントコース ~組織課題の見える化と解決策の実践~

ベーシック

Basic

■成長戦略を考え・実行するための組織課題を見える化する

SWOT分析を通じて、企業の強みを活かしながら企業のありたい姿と成長戦略を策定します。インストラクターの支援を受けながら、受講者が中心となり、成長戦略を実現するための経営課題を整理し、解決のためのプロジェクトを設定します。

	日程	時間	テーマ	個別支援(全4回)
Day 1	5月22日(金)	13:30~16:30	中小企業に多い組織課題の洗い出し方法	※個別支援の1回目と2回目は 経営層の参加必須
Day 2	5月27日(水)	10:00~16:00	企業の強みの掘り起こと成長戦略	1 •我が社の現状と未来 •SWOT分析
Day 3	5月29日(金)	10:00~16:00	ありたい姿と戦略マップから考える人と組織の課題	2 •クロスSWOT分析 •成長戦略の策定
Day 4	6月19日(金)	13:30~16:30	経営人材に必須の人的ネットワーク構築	3 •未来の姿と成長戦略 •戦略マップの考察
Day 5	7月17日(金)	10:00~16:30	経営に活かす財務の読み方	
Day 6	8月27日(木)	13:30~16:30	策定中の成長戦略の進捗状況ミーティング	4 •組織課題と課題解決 プロジェクトの検討
Day 7	9月4日(金)	13:30~16:30	最高のリーダーとは何かを考える	
Day 8	9月25日(金)	13:00~17:00		個社別に日程調整
			最終発表	

(アドバンスは8月頃に募集を開始します。)

アドバンス**Advance****顧客ニーズと顧客に提供する価値の本質を究明する**

描いているビジネスモデルを収益の柱となる事業として磨き上げるために、顧客発見の方法を学び、仮説検証に取り組みます。インストラクターの支援を受けながら、顧客候補にインタビューを行い、本質的な顧客ニーズ及び顧客に提供する価値の究明を目指します。

	日 程	テーマ	個別支援(全5回)
Day 1	令和8年10月～令和9年3月	顧客ニーズと顧客に提供する価値の本質	1 • 値値・顧客シートと商品説明資料の作成支援
Day 2		提供価値の仮説構築と商品説明資料の作成	2 • 質問台本の作成支援
Day 3		顧客ニーズと提供価値の仮説発表と意見交換	3 • インタビュー実施後のフォローアップ • 仮説修正支援
Day 4		顧客候補の相手探しと質問の仕方	4 • インタビュー複数件実施後のフォローアップ • 仮説修正支援
Day 5		顧客候補及び質問台本の発表と意見交換	5 • 仮説検証結果の整理
Day 6		顧客候補へのインタビュー結果報告①及び仮説修正	個社別に日程調整
Day 7		顧客候補へのインタビュー結果報告②	
Day 8		最終発表	
令和9年3月中旬		交流会 ※参加任意	

アドバンス**Advance****組織課題を解決するプロジェクトを実行する**

プロジェクトを推進するために必要な経営人材としてのリーダーシップ・組織を巻きこむスキルを学び、プロジェクトを実行します。インストラクターの支援を受けながら、プロジェクトを実行することで、組織力の向上も目指します。

	日 程	テーマ	個別支援(全4回)
Day 1	令和8年10月～令和9年3月	“人的資本経営”の理解と組織活性化	※個別支援の1回目は経営層の参加必須
Day 2		組織横断プロジェクトの立ち上げ方	1 • 目標・組織課題の確認 • プロジェクト設定
Day 3		組織を巻き込むファシリテーション	2 • 活動フローと阻害要因 • スケジュール検討
Day 4		経営人材が考えるデジタル活用	3 • プロジェクト進捗確認
Day 5		リーダーシップとコミュニケーションの実践手法	4 • 活動振り返り • 今後のプロジェクト活動
Day 6		プロジェクトの進捗状況ミーティング	個社別に日程調整
Day 7		最高のチームとは何かを考える	
Day 8		最終発表	
令和9年3月中旬		交流会 ※参加任意	

よくあるご質問

選考基準はありますか?



受講者の選定に悩んでいます。
どの階層や年齢の社員を受講
させればよいですか?



都合が合わず受講できない日
があっても継続は可能ですか?



応募者が多数の場合は、申込
内容をもとに「受講意欲」「事
業目的との適合性」「継続受講
可能性」の観点から、選考を実
施させていただきます。

ただし、「入門コース」に関し
ては、先着順で受け付けます。

中長期的に、経営者を支える
人材として育成したい社員の
方が対象となります。(受講者
の途中変更はできません。)
なお、経営者(代表権をお持
ちの方)、本スクール講師と同業
種のコンサルタントの方のお申
込みはご遠慮ください。

継続して受講いただけますが、
できる限り全ての回にご参加く
ださい。
欠席回の補講(オンデマンド配
信)はありませんので、自主学
習をお願いします。



事業マネジメントコース[ベーシック]・組織マネジメントコース[ベーシック]申し込みの際は、
以下の質問について、あらかじめ回答をご用意の上、申込フォームからお申し込みください。

事業マネジメントコース[ベーシック]

(1)【受講予定の方へのご質問】

本スクール受講の目的やその達成に向けた意気込みと、受講申込者が本スクールを継続的に受講するに当たり、得られる社内からの協力をご記入ください。【200字】(2名申込の場合、どちらか1名がご回答ください。)

(2)【受講予定の方へのご質問】

貴社がこの講座で題材とする、「進化を検討している既存事業」または「新規構築を検討している事業アイデア」のどちらかについてご記入ください。ない場合は「この講座で新しい事業を構想したい」とご記入ください。【200字】(2名申込の場合、どちらか1名がご回答ください。)

組織マネジメントコース[ベーシック]

(1)【受講予定の方へのご質問】

本スクールの受講目的や志望動機、なりたい経営人材像を教えてください。【200字】(2名申込の場合、各自ご回答ください。)

(2)【受講予定の方へのご質問】

現在貴社が抱えている組織課題と検討中の対応策があれば具体的な内容についてご記入ください。【200字】(2名申込の場合、各自ご回答ください。)

(3)【経営層の方へのご質問】

受講予定者の推薦理由と期待する成果を教えてください。【200字】

受講前にご留意いただきたい事項

以下についてご理解・ご了承の上お申し込みください。

- 天候や感染症拡大防止等やむを得ない事情により中止や延期、開催方法の変更をする場合があります。
- 感染症防止対策は、法令、政令等に基づき適切に実施をいたします。
- 講義テーマは変更となる場合があります。
- 全日程の参加を前提としておりますので、スクール開講後に受講者の途中変更をすることはできません。
- 欠席の場合、**講座の補講やオンライン配信はありません**。
- 講座テキストは原則データでのお渡しとなります。紙での出力が必要な方はご自身でご準備願います。
- 「事業マネジメントコース」では、PCの持参が必要となります。
- 「組織マネジメントコース」では、個別支援時に複数回、経営方針の確認のため経営層の方にご参加頂きます。
- 個別支援の日程は、受講者とインストラクター間で調整の上、決定いたします**。実施場所は、受講企業事務所(原則、都内)または、オンラインとなります。

参加
無料

お申込みを
迷われている方へ

オンライン説明会



お申込みを迷われている方は、お気軽に説明会(参加無料)にご参加ください。
スクールの概要や特徴について説明し、
ご質問や疑問点についてお答えします。

日程

①2月25日(水) / ②3月11日(水) / ③4月9日(木) / ④4月17日(金)

●各回オンラインにて14:00~15:00に実施

下記からお申込みください

令和8年度の募集要項

対象企業

東京都内に事業所を置き、経営人材育成を通じて、自社の成長発展や組織活性化を目指す中小企業

※中小企業基本法で定める中小企業であること。大企業及びみなし大企業の方はご遠慮ください。

受講対象者

本スクールにおける取り組みに意欲的に参加できる経営人材候補
(受講者の途中変更はできません。)

※経営者(代表権をお持ちの方)、本スクール講師と同業種のコンサルタントの方のお申込みはご遠慮ください。

開催期間

パンフレット中面をご参照ください。

	入門コース	事業マネジメントコース [ベーシック]	組織マネジメントコース [ベーシック]
申込み受付期間	令和8年3月2日(月) 定員になり次第締め切ります。	令和8年3月2日(月)~ 令和8年4月24日(金)	令和8年3月2日(月)~ 令和8年4月24日(金)
募集企業数	A日程 20社/B日程 20社 (1社2名まで受講可能) 先着順で受付します。	20社 (1社2名まで受講可能) 申込み内容をもとに選考し受講企業を決定します。	20社 (1社2名まで受講可能)
受講料	A日程 1社: 10,000円(税込) B日程 1社: 10,000円(税込) ※受講料の返金はいたしません。講義資料のお渡しをもって、受講に代えさせて頂きます。あらかじめご了承願います。	1社: 20,000円(税込)	1社: 20,000円(税込)

開催方法

秋葉原近隣の会場で、対面開催いたします。

受講の流れ

申込 → 受付 → 受講決定 → 受講料振込 → 受講開始

みなし企業とは、以下の事項に該当する場合です。

- ・大企業が単独で発行済株式総数または出資総額の2分の1以上を所有または出資している場合。
- ・役員総数の2分の1以上を大企業の役員または職員が兼務している場合。
- ・大企業が複数で発行済株式総数または出資総額の3分の2以上を所有または出資している場合。
- ・その他大企業が実質的に経営に参画していると考えられる場合。

オンライン説明会のお申込はこちら

<https://forms.gle/rNZ3Xt7TczfmuH336>

アクセスはこちら



経営人財育成スクールNEXTのお申込に関する詳細はこちら

https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/shien/jinteki_shihon/school/index.html

アクセスはこちら



〈申込者情報の取扱いについて〉当公社では、「個人情報保護指針」に基づき、個人情報を収集、管理及び利用いたします。また、指針に定める利用目的以外には、原則として利用しません。
詳しくは右記のURLから指針をご確認ください。<https://www.tokyo-kosha.or.jp/privacy.html>

○問合せ先

公益財団
法 人 東京都中小企業振興公社

企業人財支援課 経営人財育成スクールNEXT 担当

TEL: 03-3251-7904 Mail: sangyo-jinzai@tokyo-kosha.or.jp

URL: <https://www.tokyo-kosha.or.jp>

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-9 東京都産業労働局秋葉原庁舎2階(本社)

経営人財育成スクールNEXT 公式Facebook

本事業に関する最新情報や
講義の模様などを発信しています!

<https://www.facebook.com/keieijinzainext/>



「人は企業の経営資源であり、投資により価値を生み出す存在である。」と捉え、人を軸にした経営支援においては、人を宝として「人財」という言葉を使用しています。

※本事業は、令和8年度歳入歳出予算が令和8年3月31日までに東京都議会で可決された場合に実施します。